

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第3回） 会議議事録

1. 開催日時

2024年（令和6年）8月26日（月） 16:20～16:50

2. 開催場所

大阪市役所 5階 特別会議室

3. 出席者

別紙出席者名簿

4. 次第

- (1) 企業への働きかけについて ……資料1
- (2) TDMトライアル計画について ……資料2
- (3) 今後の進め方 ……資料3

5. 配布資料

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・資料1：企業への働きかけについて
- ・資料2：TDMトライアル計画
- ・資料3：今後の進め方
- ・参考資料1：万博TDMトライアル計画概要
- ・参考資料2：大阪・関西万博 働きかけTDMの進め方

6. 会議議事

(事務局)

ただいまから、第3回「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」を開催いたします。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日、司会進行を務めさせていただきます、大阪府・大阪市万博推進局理事の高橋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、本会議の会長である吉村知事よりご挨拶いただきます。

(吉村会長)

万博開催まで、いよいよ7か月半となりました。7か月半後には万博を開催するという非常に重要な時期に差し掛かっており、あらゆる準備を加速化させていく必要があると思います。

万博には2,820万人が来場されると見込んでおりますので、来場される方の円滑な来場と、また都市経済活動の両立を図っていく必要があります。そのためには、事業者の皆さん、また府民、市民の皆さんに、交通に関して行動変容に取り組んでいただく、またそこにご協力をいただくということが非常に重要になっているように思います。

今年の2月に万博TDMパートナー制度を構築いたしました。それ以来、本日お集まりの皆さんのご協力もありまして、あらゆる機会を通じて、万博TDMパートナー制度を広げてまいりました。非常に多くの事業者の方がここに参入していただきましたし、また、これからさらにそれを広げていかなければならないと思っています。

本日、これまでの企業への働きかけの状況や、あるいは幹事会で議論をとりまとめたTDMの進め方、ここを再確認するとともに、いよいよ7か月半で会期が始まりますので、会期本番での実効性を高めるために万博TDMトライアルの計画を実際に実行していきたいと、そう思います。今年の9月に実行できればと思います。そして、それを実際の本番に反映させていこうと考えております。

本会議を通じて、大阪全域でこの取組と機運を高めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、次第に従いまして議事を進めさせていただきます。

まずは、1つ目の議題「企業への働きかけについて」、ご説明させていただきます。

(1) 企業への働きかけについて

(事務局)

昨年12月の第2回会議後、万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立を目指すため、令和6年2月20日より、企業・団体の方々に対して、万博TDMパートナー登録の募集を開始しております。

8月23日現在の登録状況は、登録件数357件、1,242事業所のご登録をいただいております。

募集開始以降の取組状況については、右下表に示しますとおり、メールマガジン、個別依頼・訪問、説明会など、さまざまな取り組みを実施してきたところでございます。

引き続き、委員、協力委員の皆さまにおかれましては、万博TDMパートナー登録に関して、企業・団体への周知、呼びかけへの御協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、二つ目の議題「TDMトライアル計画について」ご説明させていただきます。

(2) TDMトライアル計画について

(事務局)

資料2「大阪・関西万博に向けた万博TDMトライアル計画」についてご説明いたします。

2ページをご覧ください。まず、トライアル期間です。最も来場者が集中すると予測される会期末に相当する期間のちょうど1年前にあたる9月30日（月）から10月4日（金）にかけて実施する予定でございます。

続いて、トライアルの目的になります。万博開催中の繁忙期に相当する、1年前の平日に、TDMのトライアルを行い、課題の洗い出しとともに、検証結果を公表し、TDM取組みの重要性に関して、企業等皆様の意識向上に役立てていただきたいと思いますと考えております。

3ページをご覧ください。つづいて、トライアルのエリア、ならびに対象になります。万博来場者により、特に人流・物流が集中し、混雑が予測される重点エリアの「万博会場周辺、大阪Metro中央線周辺」、また主要エリアの「主要ターミナル周辺の駅シャトルバス発着地」を含む大阪府域内の企業を対象に幅広く、トライアルへの協力をお願いしていく予定です。

4ページをご覧ください。では、具体的に企業の皆さまに何に取り組んでいただくのか、ということです。企業の皆さまには、万博交通の集中が予測される大阪Metro中央線、あるいは御堂筋線の平日朝ピーク時、8時台から10時台の利用を回避するため、また、平日午前における阪神高速道路、万博会場周辺の一般道路の利用を回避するための取組みにご協力いただきたいと思いますと考えております。

では、そのために具体的にどういった取組が考えられるのか、主な事例を示しております。在宅勤務、時差出勤、あるいは通勤経路の変更といった取組が想定され、各企業の皆様におかれましては、取組例の中から実施可能な取組について実践いただければと思います。

5ページをご覧ください。つづいて、トライアル実施による検証テーマと検証方法をアウトプットイメージと併せてまとめております。企業による取組の実態、取組むうえでの課題については、アンケートにより実施してまいりたいと考えております。

また、これら取組が交通量低減にどう影響したのか、という分析については、鉄道については、大阪Metro様保有のデータを提供いただき、取組内容と合わせて、相関関係を見出していきたいと考えております。道路につきましても、幹事会での議論も踏まえ、アンケートをベースに取組の成果を定性的に確認してまいります。

6ページをご覧ください。今申し上げました鉄道を対象とした定量分析の詳細になります。検証箇所は、会期中に最も混雑が想定される大阪メトロ中央線の弁天町以西としております。駅降車人数や区間別利用者数など、大阪メトロ様保有のデータを提供いただき、年変動や月変動の影響を受けないよう、トライアル前後の週を比較対象とし、変化交通量を分析する予定としております。

7ページをご覧ください。つづいて、アンケートフローを提示しております。取組内容、取組にあたっての課題、取り組めなかったと回答された場合の理由など、網羅的に把握できるよう、かつ回答いただく方々に負担感のないよう基本的には選択式にする形で、今後整理してまいります。

8ページをご覧ください。次に、TDMトライアル期間につきましては、企業の皆様による取組に加え、府市や博覧会協会においても、取組を展開してまいります。

具体的には、咲洲庁舎、ATC庁舎部局の大阪府市職員、および博覧会協会はまさに当事者として、会期末の最混雑期を見据え、時差出勤や在宅勤務等により中央線の午前中の混雑時間帯における7割の通勤削減を目指す予定としております。経済団体、国関係機関、鉄道・バス・トラック事業者等におかれましても、TDM推進団体として、この取組の周知、実施に是非ご協力いただければと思います。

9ページをご覧ください。最後に、トライアルに向けた広報になります。今回、トライアルの実施にあわせ、新たなポスターを作成しております。本日、正面ならびに側面の画面にも投影しておりますが、これらを、特に混雑が予想されるOsaka Metro中央線や御堂筋線において、鉄道事業者の協力を受けて車内のドア横や主要駅に広告を掲載する予定としております。

加えて、経済団体や鉄道会社、国機関の皆様が保有所有する施設や広報誌にも掲載させていただく予定でございます。こういった広報を通じて、更なるTDMの理解促進やパートナー企業の登録数向上にもつなげてまいりたいと考えております。

なお、本日は参考資料1および2を配布しております。参考資料1が、本日説明いたしました、万博トライアルの計画概要をより詳細に示したものであり、トライアル実施に際し、参考資料として活用いただければと思います。参考資料2についても、来場者具体方針のTDM記載部分や、これまで交通円滑化推進会議等で整理してきた内容を取りまとめたものになりますので、こちらも是非ご参考いただければと思います。

(事務局)

最後に3つ目の議題「今後の進め方」についてご説明させていただきます。

(3) 今後の進め方

(事務局)

資料3「今後の進め方」につきましてご説明いたします。

本日の交通円滑化推進会議でのご確認を踏まえ、来月9月30日から10月4日にかけてトライアルを実施してまいります。トライアルによる検証結果速報は整理出来次第、適宜公表していくものとなりますが、12月に開催予定の第4回交通円滑化推進会議にて検証結果の総括を予定しております。

また、会期100日前を控えた12月には、府県市民への働きかけ方針に関する確認をいただき、働きかけを開始していく予定としております。

(事務局)

ありがとうございました。資料の説明は以上となります。

それでは、会長、副会長、委員の方々、それから会長代行の順番にご発言をいただきたいと思ひます。

会長、副会長、委員、会長代行からの発言

(吉村会長)

万博TDMトライアルを今年の9月30日から10月4日に実施をしたいと思ひます。説明があったとおり、ぜひこのトライアルを実施して、このトライアルを機に課題の洗い出しを行って、そして来年4月の開幕に備えていきたいと思ひます。

特に大阪メトロ中央線周辺、また、万博会場周辺、こういった重点エリアで企業活動をされている企業の皆さんにはぜひともトライアルに参加をお願いしたいと思ひます。また、行政からの働きかけをよろしくお願ひします。

そして、実際にこの万博会場周辺には、咲洲ですが、大阪府・市の職員、協会の職員も勤務しています。まさに当事者でありますので、会期末の最終の混雑を見据えて、7割の職員の在宅勤務、それから時差出勤等の取組を目指していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

さらに、国関係機関にも協力をお願いしたいと思ひています。このたび、交通円滑化推進会議の議長名で内閣官房と大阪市域の国の出先機関に対して協力要請文を発出したところであります。国関係機関、そして経済団体、交通事業者の皆さんにもぜひこのTDMに取り組んでいただきたいと思ひますし、ぜひまた周知をお願いしたいと思ひます。

次に、咲洲庁舎、それからATCへ来庁されるの方々、住民サービスを行っております。ご不便をおかけすることになりますが、このトライアル期間実施中に、可能な限り来庁をお控えするようご協力をお願いしたいと思ひます。ただ、窓口機能を停止させるわけではありませんので、行政のこの咲洲における窓口機能はそのまま維持をいたしますが、この間、少し来庁を控えていただければと思ひています。

最後に、万博TDMパートナー企業の登録のお願いです。登録された企業の皆さんには、万博の交通情報、あるいは企業活動に役立てていただける情報をプッシュ型で配信をいたしております。TDMの取組にご賛同いただける大阪府域の企業、事業者の皆さん、今1000事業所以上登録していただくということですが、さらに万博に向けて多くの事業者の皆さんに登録をお願いしたいと思ひます。

TDMの実施においては、これは大阪府全域、経済界の皆さん、そして府民の皆さん、市民の皆さん、一緒になって取り組むことによって、万博に来場される方と、そして都市活動の両立を図っていききたいと思ひますので、よろしくお願ひをいたします。僕からは以上です。

(事務局 高橋理事)

ありがとうございました。

続いて、副会長であります日本国際博覧会協会、石毛事務総長、よろしくお願ひいたします。

(石毛副会長)

平素より、大阪・関西万博開催に向けて関係各位のご理解、ご協力をいただきまして大変ありがとうございます。この場を借りて一言御礼を申し上げます。

本日で万博開催まで残り230日となったわけであります。皆様のご協力によりまして、先週21日ですが、大屋根リングの木造建築部分が完成するなど、万博会場の整備も着実に進めてきているところであります。

こうした準備と併せまして、10月には来場日時予約が始まります。ますます万博の機運も高まっていくものと期待をしています。

そういう中で、万博に来場される方々は期間中に2,820万人ということで、大阪・関西万博の成功のためには安全で円滑な輸送の確保が不可欠であります。先ほど知事のご発言にもありましたが、過去の博覧会は、会期後半、終わりにかけて非常に混雑する傾向があります。このため、府県市民、企業の皆様には大変ご苦労をおかけすることになるわけでありますが、何卒TDMの取組に対するご協力をお願いしたいと思っております。

特に経済界の皆様におかれましては、1万事業所を目標とします万博TDMパートナーの企業登録の促進について一層お力添えをいただければ幸いです。

今回、TDMトライアルということで、万博期間中のTDMの取組の実効性を高めるために必要な準備となるこのトライアルは大変重要でありますので、よろしく願いをいたします。

私どもの協会でも、咲洲勤務の職員約800名のうち、7割以上において、時差出勤、あるいは迂回出勤、テレワークなど、TDMの取組を行うこととしております。ここにお集まりの吉村知事、横山市長、松本会長をはじめ、関係の皆様とともに博覧会協会としても開催に向けて、TDMをはじめ、必要な準備を着実に進めてまいります。引き続きのご支援をよろしく願いいたします。

(事務局 高橋理事)

ありがとうございました。

続きまして、委員であります関西経済連合会、松本会長、よろしく願いいたします。

(関西経済連合会)

いよいよ、万博の開幕まで200日余りになりました。多くの方々に、快適に、そして安心・安全に万博へ足を運んでもらうために一段とギアを上げてスピード感を持って働きかけを進めていかなければなりません。関経連としましても、より一層会員企業などに対し協力の呼びかけをしてまいりたいと考えています。

本日説明がありました万博TDMトライアルについても、実施結果をしっかりと分析して、万博開催時の実施に向けた課題などを抽出し、協力いただいた方々にフィードバックをしていただきたいと思えます。

関経連におきましても、トライアルに協力いただいた企業からの気づきの声などがあればお伝えしたいと思えます。

昨年12月の会議でも申し上げましたが、TDMを真に効果的なものにするためには、経済団体に所属していない企業や一般市民の協力が欠かせないと思えます。本日の資料では、開幕100日前を目途に働きかけを行うことが示されております。その内容につきまして、具体的な中身を早期に示していただきまして、100日前を待たずして働きかけを行っていくことが必要ではないかと思えますので、検討をよろしく願います。引き続き、関係者が一丸となって万博の成功に向けて取組を進めていければと思いますので、よろしく願いいたします。私からは以上になります。

(事務局 高橋理事)

ありがとうございました。

続きまして、委員の代理出席をいただいております大阪商工会議所、井内専務理事、よろしく願いいたします。

(大阪商工会議所)

私ども、大阪商工会議所では、会議所自らがTDMパートナーに登録しておりますし、幹部企業も登録してもらっておりますが、今回のトライアルをきっかけに、より多くの会員企業にご登録いただけるように、機関誌、メールマガジンなどを通じて働きかけを強化してまいり所存でございます。

他方で、TDMを効果的に実施するためには、松本会長からもお話がありましたように、企業だけではなく、交通機関を利用されるすべての皆様のご協力が必要だと思っております。また、万博時の交通混雑情報につきましては、企業だけではなく、一般の方々も関心が高いだろうと思われまふ。つきましては、本番に向けてかもしれません、一般の方々にもTDMパートナーとしてご登録いただいて、TDMに積極的にご協力いただくことや、混雑情報がプッシュ型でタイムリーに出せるようにするというのも1つなのかなと思っております。

また、今回のトライアルの発信力を高めるために、話題性のある取組もあわせて、実施を考えられないかと思っております。例えば、大型荷物の持ち込み自粛など、万博会期中の要請に近い取組も要請することを検討してはどうかと思っております。

(事務局 高橋理事)

ありがとうございました。

続きまして、委員の代理出席をいただいております関西経済同友会の松村常任幹事、よろしく願いいたします。

(関西経済同友会)

本日は、万博TDMトライアル計画のご説明をいただき、ありがとうございました。万博開催期間は半年にわたりますので、ご説明にありましたとおり、混雑が予想される時期によって、「呼びかけ」や「強く呼びかけ」といった濃淡をつけることが大事だと思っております。

本日のお話では、今回のトライアルで大阪府・市、博覧会協会は対象となる職員の方の7割の通勤の削減を目指すというふうにございました。一方で、参考資料によりますと、企業に対しては可能な範囲で実施するものとして目標値を定めることにはないのご配慮いただいているのですが、やはり出勤の何割減らすといったことを一つの目安として示していただくと、協力させていただく側としては、より具体的な取組に繋げやすいと思います。今回のトライアルでは、可能な範囲での実施ということですので、その結果も踏まえて、そういった目標、目安の設定、例示についてご検討いただければありがたいと思います。

TDMは来場者の方に、より快適に万博を楽しんでいただくため、また我々事業者にとっても日常の業務を円滑に進めるために重要な課題と認識しております。

同友会としても引き続き皆様と協力してTDMの進行に取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局 高橋理事)

ありがとうございました。

最後に、会長代行の横山市長、よろしくお願いいたします。

(横山会長代行)

本日は、委員の皆様、大変お忙しいところをご参集賜りましてありがとうございます。そして、TDMの取組は、特に開催期間中の混雑回避のために非常に重要な取組でございますが、府民の皆様、市民の皆様、そして経済界の皆様のご理解が不可欠でございます。何卒引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、本日はこの取組に向けまして説明がありましたが、特に大阪府・市は資料2の8ページにもありますが、7割の削減、これをトライアル期間中に取り組むこととなります。大阪府・市、また博覧会協会も同じく7割の削減ですので、まずはこの実現に向けて、大阪府・市、博覧会協会、しっかり頑張ってもらいますし、経済界の皆様にも引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、重ねてのお願いになりますが、咲洲にある庁舎へのご来庁に関しては、ぜひトライアル実施期間中におきましては可能な限り、控えていただくようご協力をお願いしたいと思っております。

資料2の5ページにもありましたTDMトライアル後には、アンケート調査を予定しているということでございます。実際に取り組んでみてどうだったかというのを検証するのは非常に重要なことでございます。このアンケート結果を受けて、どのような課題があったのかをぜひ各機関でご議論いただいて、会期本番につなげていきたいと考えております。

また、TDMパートナー登録に関しても1万事業所を目指して取組を進めておりまして、数日前に確認した事業者数からまた大きくこの間増えていきますので、事業所のご理解をいただきますとともに、登録数の増加に向けまして、委員の皆様のお力添えも何卒よろしくお願い申し上げます。

このTDMパートナー登録やトライアルへの参加促進のために、トライアルに取り組んでいただいた企業の皆様に、万博TDMトライアル参加証の発行や、また先進的な取組を実施していただいた企業の皆様はホームページで、その取組内容を発表するといったことも予定しておりますので、積極的にご参加いただきたいと思っております。

大阪市としても引き続き府と連携しつつ、中央線等の沿線企業へ働きかけを行ってまいります。パートナー企業の登録など、TDMに関する関係先への積極的な広報につきまして、重ねて何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本円滑化推進会議のメンバーの皆様と密に連携しまして、万博におけるTDMの取組を着実に進めるために、引き続き連携させていただきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

(関西経済連合会)

横山市長が言われたように、目に見えるインセンティブがあれば、もっと積極的に参加するのではないかと思います。それを個人個人に与えるのは問題かもしれませんが、企業としてTDMに大いに参加しようとしているところに対して、どのようなインセンティブを与えるかというのは、重要視しております。万博について、とにかく成功させないといけないということですので、この点についても市民の参画意欲を盛んにするため、大阪府、大阪市、博覧会協会が本推進会議で一生懸命やっていることを言ったほうがいいのかという意見もあります。

(事務局)

登録証の発行や先進的な取組の公表を考えておりますが、また、幹事会のメンバーの方とも、ご意見、アイデアをいただきながら、進めていけたらと思っております。

(関西経済連合会)

東京オリンピックのときには、オリンピック協会は企業にインセンティブを与えたら、与える前とは、4倍ぐらい参加者が違っていました。具体的には、実施前には5,000事業所のところ、実施後には4万8000事業所になった。

何をインセンティブとするかは難しいところではありますが、これから、いろいろと発表していきますので、そのときをチャンスとして、何らかのインセンティブを考えたらいいのかと感じます。

(横山会長代行)

確かにトライアル参加証や先進的な取組を公表する、これも非常に重要なところではあるのですが、企業の皆さんがより参加しやすいようなインセンティブ、モチベーションになるような、特別な何かを見ることや体験できることも、一度ご検討いただけたらと思います。

(事務局)

本日、ご意見をいただきましたので、引き続き幹事会を活用しながら、検討していきたいと思っております。

引き続き、幹事会において、具体的な検討を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これもちまして、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第3回）を終了させていただきます。

本日はお忙しいところをお集まりいただきありがとうございました。

以上